

**ShinEtsu**

しんえつ・リポート

# 第132期 報告書

(2008年4月1日～2009年3月31日)



## 株主・投資家の皆さまへ

厳しい環境の中に成長の機会を見だし、  
企業価値の最大化に力を注いでいます。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、  
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
第132期(2008年度/2008年4月1日から2009年3月31日まで)の  
報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。



### 経営努力を重ね、利益還元に注力

第132期は、アメリカに端を発した金融危機により世界経済が急速に悪化するなど極めて厳しい状況になりました。その中で信越化学は、積極的な販売活動、製造コストの削減、新規製品の開発・事業化などに力を注ぎ、厳しい経済情勢の影響を最小限にとどめることに努めました。

この結果、信越化学グループの業績は、連結売上高1兆2,008億1千3百万円、連結経常利益2,505億3千3百万円、連結当期純利益1,547億3千1百万円となりました。また、当社は日々の経営努力の成果を株主の皆さまに適正に還元する配当を行うことを基本方針としており、1株当たり年間配当金は前期の90円から100円に増配し、自己株式取得とも併せて総合的に株主の皆さまへの利益還元に努めてきました。なお、1株当たり100円の配当金は、10年前の1999年3月期(1株当たり9円)と比べ10倍以上に相当します。

### 世界を舞台に、積極的に事業推進

塩ビ(塩化ビニル樹脂)事業は業界全体が厳しい環境下にありましたが、当社グループの米国のシンテック社は、全世界を対象とした積極的な販売を積み重ねた結果、利益を大きく伸ばすことができました。また、同社はルイジアナ州に7,000エーカー(約900万坪)の工業用地を確保し、昨年秋に原料からの塩ビ一貫生産工場が稼働を開始しました。現在、第2期拡張工事を進めており、世界最大の塩ビメーカーとしての事業基盤を一層強化していきます。また、当社グループの事業拡大に向けてさらに同用地の有効活用を進めます。

2004年以降需要が拡大局面にあった半導体シリコン事業は、当下半年期から需要が減少しました。しかし、当社は市況の変化を想定して2006年に製造設備の減価償却期間を5年から3年に短縮するとともに、競争力を強化してきました。今後も市況の変化を的確にとらえ、世界最大の半導体ウエハーメーカーとして、高品質製品の安定供給に力を注ぎます。

### 表紙の写真について



ハワイ・オアフ島の  
ラニカイビーチ  
(写真家・高砂 淳二氏の作品  
/2009年信越カレンダー  
「NATURE AND LIFE  
空と生きる」より)

セルロース事業は、ドイツのSEタイロース社で医薬品向け製品の設備建設を進め、日欧2極の生産体制とし、事業を強化してまいります。また、一般用希土類磁石事業はハイブリッド自動車や省エネエアコンなど省エネルギーや地球環境の保全に寄与する分野で、需要の伸びが期待されています。当社では高品質の製品開発を推進し、競争力の強化を図っています。

研究開発では、他社が追従できない独創性を持った製品・技術の実現に向けテーマを絞って進めています。すでに事業化したエキシマレジストは近年の新規研究から生まれた大きな成果の一つです。さらに、2008年度には開発を進めてきたフォトマスクブランクスを事業化しました。また、研究開発を通じて得た技術・ノウハウなどの知的財産は、競争力を強化する重要な経営資源です。このため、特許取得などによる知的財産権の保全とその管理の強化にも力を注いでいます。

## 公正な経営とCSRの推進

当社では、遵法精神を基本とした公正な経営を推進しており、社外取締役および社外監査役の方々に当社の経営や監督に参画していただいています。2008年11月には、福井俊彦前日本銀行総裁を特別顧問としてお迎えし、2009年6月に社外取締役に就任していただきました。

また、2008年4月より適用が始まった「内部統制報告制度(J-SOX)」に基づき内部統制報告書を作成し、会計監査人による監査の結果、報告書の内容が

適正である旨の報告を受けています。当社は今後とも内部統制の体制の整備に努めるとともに、企業統治を強化しながら経営に取り組んでまいります。

当社は「遵法精神に徹し、公正な企業活動を通じて社会に貢献する」ことを企業理念とし、また工場の操業など日々の企業活動において「安全を何よりも優先する」を経営方針の最優先事項に位置付け、企業の社会的責任(CSR)のより一層の推進を図っています。

## 2009年度の経営方針

世界経済ならびに国内景気の低迷が続くものと懸念されますが、厳しい状況にこそ成長の大きな機会があると確信しています。このため、世界の幅広い顧客への積極的な販売活動を行うとともに、世界最高水準の技術と品質を追求し、コスト競争力をさらに高めながら事業展開を進めます。設備投資につきましては、市況を注視しながら、世界を視野に入れて可能性のある分野で積極的に実施します。また、M&Aについても、機会をとらえて進めていく方針です。

これらの経営努力によって企業価値の最大化を図り、皆さまのご期待に応えていきたいと思えます。

株主・投資家の皆さまには、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役社長

金川 千尋

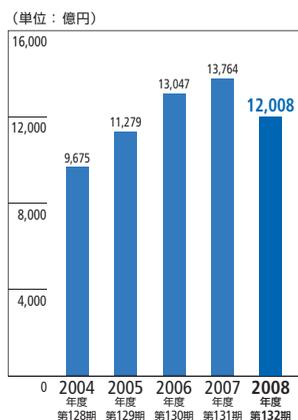
# 連結業績ハイライト

## 信越化学工業株式会社および連結子会社

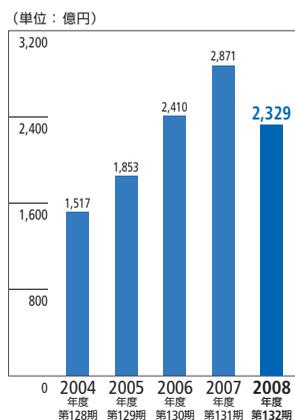
(単位:百万円)

	2007年度	2008年度	増減
売上高	1,376,364	<b>1,200,813</b>	[▲12.8%] ▲175,551
営業利益	287,145	<b>232,927</b>	[▲18.9%] ▲54,218
経常利益	300,040	<b>250,533</b>	[▲16.5%] ▲49,507
当期純利益	183,580	<b>154,731</b>	[▲15.7%] ▲28,849
1株当たり当期純利益	426.63円	<b>362.39円</b>	▲64.24円
1株当たり年間配当金	90.00円	<b>100.00円</b>	10円増配
純資産	1,483,669	<b>1,407,353</b>	
総資産	1,918,544	<b>1,684,944</b>	

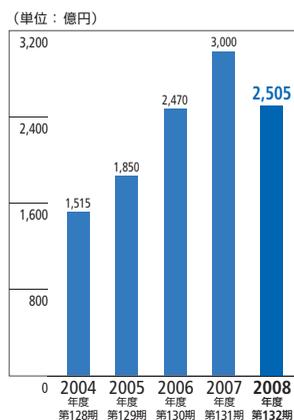
### 連結売上高



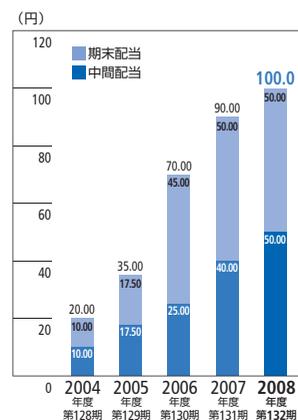
### 連結営業利益



### 連結経常利益



### 1株当たり配当金



# シンエツは“いま”

## 特殊セルロース製品の生産能力を増強 (2008年10月発表)

当社は、直江津工場における特殊セルロース製品の生産能力を、約3割増強することを発表しました。今回、増強するのは医薬品添加剤用途の特殊セルロース製品で、近年需要が堅調に伸びています。引き続き市場の拡大が見込まれるため、当社は生産能力を増強して、需要家の皆さまへの安定供給をより一層強化していきます。



医薬用セルロースが使われた錠剤

## 当社関連会社シレス社を完全子会社化へ (2008年12月発表)

当社は、欧州における塩ビ製造販売の関連会社ポルトガルのシレス社を完全子会社化とする手続きに入りました。これは、同社の事業運営のスピードアップを図り、欧州における塩ビ事業の一翼を担う存在として事業を拡大させることを目的としたものです。同社はこれまで培ってきた生産技術力・販売力のさらなる向上を図り、収益力の強化に努めています。



## 前日銀総裁 福井俊彦氏が社外取締役役に就任へ (2009年3月発表)

当社の特別顧問(2008年11月就任)である福井俊彦氏を社外取締役に迎えることとなりました。同氏にはすでに大所高所から有益な助言をいただいています。今後は社外取締役として独立した立場から企業経営全般についてご指導いただくこととなります。



## 前東京大学総長 小宮山宏氏が特別顧問に就任 (2009年4月発表)

前東京大学総長の小宮山宏氏を当社特別顧問に迎えました。同氏には、ご自身の専門分野である化学工学のみならず、東大総長としての豊富な知識と経験から、当社の技術・研究開発の分野や、豊富なネットワークによる産学連携について指導いただけます。また、化学プラントプロセス技術の向上にも、専門家として参画いただくこととなります。

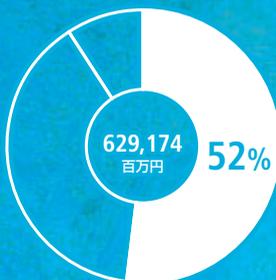


# 事業概況

## 有機・無機化学品

### <主な製品>

塩化ビニル樹脂／シリコン／  
メタノール／クロロメタン／  
セルロース誘導体／キーボード／  
か性ソーダ／金属珪素／  
ポパール／合成性フェロモン



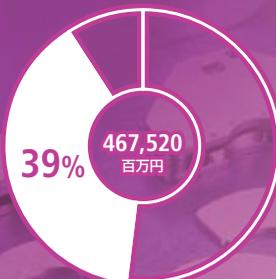
売上高構成比



## 電子材料

### <主な製品>

半導体シリコン／  
電子産業用有機材料／  
電子産業用希土類磁石／  
フォトリジスト製品



売上高構成比



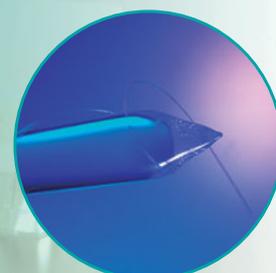
## 機能材料その他

### <主な製品・業務>

合成石英製品／レア・アース／  
一般用希土類磁石／  
液状フッ素エラストマー／  
ペリクル／技術・プラント輸出／  
商品の輸出入／  
エンジニアリング事業



売上高構成比



## 有機・無機化学品

## 2008年度の事業概況

**塩化ビニル樹脂** 米国の住宅需要が低迷する中、米国のシンテック社では、長年にわたり培ってきた販売力を活かし、世界中の顧客への拡販により、高水準の稼働を継続しました。この結果、前期に比べ利益は大きく伸長しました。また、オランダのシンエツPVC社は欧州での販売が堅調に推移しました。一方、国内事業は、国内需要が低迷し、また輸出も振るわず、厳しい状況が続きました。

**シリコーン** 2008年秋以降幅広い分野で需要減退の影響を受けたことにより、業績は前期を下回りました。また、信越ポリマー(株)の携帯電話用キーパッドも需要低迷の影響を受けました。

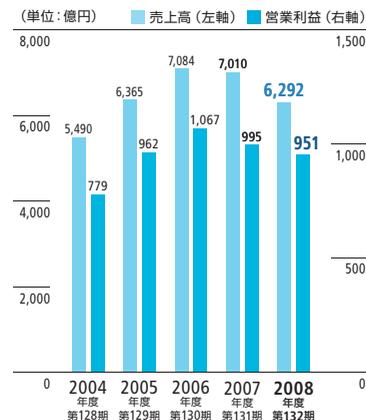
**その他** セルロース誘導体は、国内事業では医薬品向けを中心に好調に推移しました。一方、ドイツのSEタイロース社は建材向けの需要減少の影響を受け、伸び悩みました。また、金属珪素は、製品価格の上昇もあり、オーストラリアのシムコア社の業績は大幅に伸長しました。

この結果、売上高は、前期に比べ718億2千8百万円(10.2%)減少し、6,291億7千4百万円となり、営業利益も前期に比べ43億3千9百万円(4.4%)減少し、951億4千2百万円となりました。

## 今後の展開

塩化ビニル事業では、シンテック社のルイジアナ工場の増設や、ポルトガルのシレス社を100%子会社化する手続きなどを進めており、欧米での事業基盤を強化し、世界最大の塩ビメーカーとしての地位をより強固なものにしていきます。また、シリコーン事業では、新製品や新規用途の開発を促進するとともに、さらなる生産性向上に努め、国内外の事業を強化していきます。セルロース事業では、医薬用製品の安定供給を図るため、ドイツのSEタイロース社でも製造設備の建設を進めており、引き続き事業基盤の強化に努めていきます。

## 売上高および営業利益



こんなところにも



(株)資生堂

日焼け止め用乳液  
「新・アネッサシリーズ」

さまざまな性質を持ち、安全性も高いシリコーンは、オイルやゴムなど多様な形状で、電気・電子、建築、自動車、化粧品・トイレットリー、食品など、幅広い分野で活躍しています。

化粧品分野では、当社は豊富な実績があり、安全性や耐水性、さらっとしてべたつかない感触が評価され、ウォータープルーフの日焼け止め用乳液にも使われています。(株)資生堂の人気商品「新・アネッサシリーズ」には、当社のシリコーンが採用され、高まる紫外線ケアのニーズに応えています。

# 電子材料

## 2008年度の事業概況

**半導体シリコン** 世界的な景気減速による携帯電話、パソコン、デジタル家電、自動車向けなどの電子機器需要の落ち込みに伴い、2008年秋以降半導体デバイス需要も急速に減少したことから、ウエハー需要も大きく影響を受け、業績は前期を下回りました。

**電子産業用希土類磁石** パソコン用ハードディスクドライブの生産調整の影響を受け、業績は前期を下回りました。

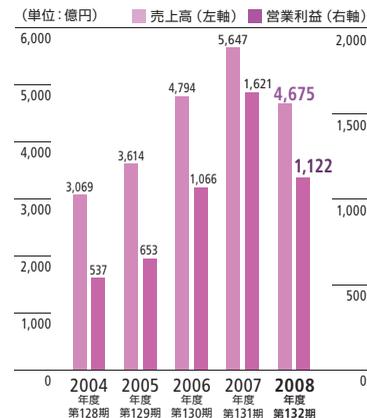
**その他** フォトレジスト製品や電子産業用有機材料も、半導体デバイスメーカーの稼働低下の影響を受け、出荷が振るわず業績は前期を下回りました。

この結果、売上高は、前期に比べ971億7千6百万円(17.2%)減少し、4,675億2千万円となり、営業利益も前期に比べ498億6千6百万円(30.8%)減少し、1,122億3千4百万円となりました。

## 今後の展開

半導体シリコン事業では、300mmウエハーを中心に、今後も需要動向を的確にとらえ、世界最大のメーカーとして高品質の製品を安定的に供給していきます。また、フォトレジスト製品などをはじめとした半導体関連材料の開発にも幅広く取り組んでいきます。

## 売上高および営業利益



こんなところにも



### 三菱電機(株) ルームエアコン 「霧ヶ峰ムーブアイFit」ZW/ZXVシリーズ

半導体集積回路の基板となるシリコンウエハーは、パソコンや携帯電話などのIT製品をはじめ、高性能化や省エネルギー化が進む家電製品にも多く使われています。

白物家電や鉄道の駆動モーターなどには、シリコンウエハーを基板とするパワー半導体が組み込まれており、電気を効率よく制御することで省エネルギーを実現しています。

省エネルギー性能の高い三菱電機(株)ルームエアコン「霧ヶ峰ムーブアイFit」ZW/ZXVシリーズにも当社のシリコンウエハーが使用され、快適な暮らしに役立っています。

# 機能材料その他

## 2008年度の事業概況

**合成石英** 発展する広域情報網を支える光ファイバー用プリフォームは、世界的な通信データ量の増大に伴い、需要が伸び堅調に推移しました。一方、液晶用大型フォトマスク基板は、市場低迷が続き低調に推移しました。

**一般用希土類磁石、その他機能材料** 一般用希土類磁石では、当上半期はエアコン用の省エネルギーモーター向けが好調に推移したものの、当下半期から光ピックアップやFAモーターなど電子機器向けを中心に需要が落ち込み、業績は伸び悩みました。また、液状フッ素エラストマーは売上が伸び悩みましたが、ペリクルの出荷は好調でした。

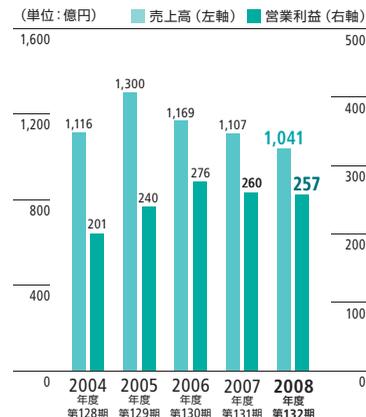
この結果、売上高は、前期に比べ65億4千7百万円(5.9%)減少し、1,041億1千8百万円となり、営業利益も前期に比べ2億8千8百万円(1.1%)減少し、257億2千4百万円となりました。

## 今後の展開

一般用希土類磁石事業では、新設したレア・アース分離精製設備を活かし、一層の生産性向上に努めるとともに、需要の増加が期待されるハイブリッド自動車向けなどを中心に拡販に努めます。また、次世代半導体であるMRAM\*や、MRセンサー(磁気抵抗素子)の製造工程などに用いられる、永久磁石式としては世界最大級となる大型磁気回路を開発するなど、多様化するユーザーニーズにあわせた製品開発にも注力していきます。

\*MRAM: 磁気抵抗ランダムアクセスメモリー(Magnetoresistive Random Access memory)。磁気によりデータを記憶する次世代メモリーデバイスで、高速化かつ高集積化が可能。

## 売上高および営業利益



こんなところにも



### パナソニック サイクルテック(株)

#### 電動アシスト自転車 「リチウムビビ・DX」

高性能永久磁石であるレア・アースマグネットは、フェライト磁石の約10倍の強力な磁性を持つため、モーターに応用され、身の回りの電気や機械製品に使われています。

快適な走行と環境への配慮を実現したパナソニック サイクルテック(株)の電動アシスト自転車「リチウムビビ・DX」のモーター部分にも当社のレア・アースマグネットが採用され、小型・軽量化・省電力化に貢献しています。

# 連結決算の概要

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

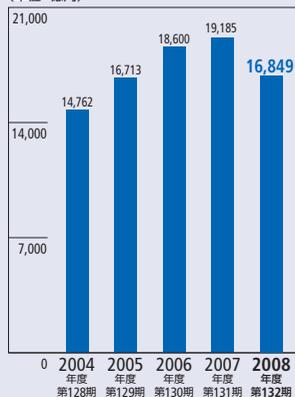
科 目	前 期 2008年3月31日現在	当 期 2009年3月31日現在
(資産の部)	<b>(1,918,544)</b>	<b>(1,684,944)</b>
流動資産	<b>1,017,325</b>	<b>815,926</b>
現金・預金	217,265	209,541
受取手形・売掛金	313,943	215,842
有価証券	184,519	111,878
たな卸資産	204,336	208,109
その他	97,260	70,554
固定資産	<b>901,219</b>	<b>869,018</b>
有形固定資産	<b>654,643</b>	<b>609,678</b>
建物及び構築物	180,566	161,392
機械装置及び運搬具	240,671	294,007
その他	233,405	154,278
無形固定資産	<b>25,859</b>	<b>18,253</b>
投資その他の資産	<b>220,716</b>	<b>241,086</b>
投資有価証券	150,492	146,893
その他	70,224	94,193
資産合計	<b>1,918,544</b>	<b>1,684,944</b>

(単位：百万円)

科 目	前 期 2008年3月31日現在	当 期 2009年3月31日現在
(負債の部)	<b>(434,875)</b>	<b>(277,591)</b>
流動負債	<b>376,648</b>	<b>209,294</b>
支払手形・買掛金	149,304	75,188
短期借入金	11,826	10,872
その他	215,517	123,233
固定負債	<b>58,226</b>	<b>68,296</b>
長期借入金	22,132	12,817
その他	36,093	55,478
(純資産の部)	<b>(1,483,669)</b>	<b>(1,407,353)</b>
株主資本	<b>1,399,059</b>	<b>1,483,039</b>
資本金	119,419	119,419
資本剰余金	128,177	128,177
利益剰余金	1,163,680	1,277,056
自己株式	(-) 12,217	(-) 41,613
評価・換算差額等	39,737	(-) 116,978
新株予約権	1,614	2,446
少数株主持分	43,257	38,846
負債純資産合計	<b>1,918,544</b>	<b>1,684,944</b>

## 総資産

(単位：億円)



## 純資産／自己資本比率

(単位：億円)

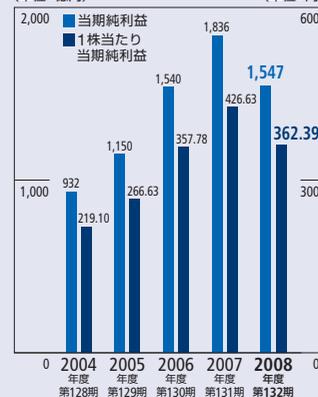
(単位：%)



## 当期純利益／ 1株当たり当期純利益

(単位：億円)

(単位：円)



※ 2005年度までの各事業年度の「純資産」の額は、「資本の部」の額を表示しています。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2007年4月1日 ～2008年3月31日	2008年4月1日 ～2009年3月31日
売 上 高	1,376,364	1,200,813
売 上 原 価	946,940	853,433
<b>売上総利益</b>	<b>429,424</b>	<b>347,380</b>
販売費・一般管理費	142,278	114,453
<b>営業利益</b>	<b>287,145</b>	<b>232,927</b>
営業外収益	30,440	26,472
営業外費用	17,546	8,866
<b>経常利益</b>	<b>300,040</b>	<b>250,533</b>
特別利益	8,227	—
特別損失	7,197	6,048
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>301,069</b>	<b>244,485</b>
法人税・住民税・事業税	100,600	60,129
過年度法人税等	10,878	—
法人税等調整額	1,190	28,478
少数株主利益	4,820	1,145
<b>当期純利益</b>	<b>183,580</b>	<b>154,731</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2007年4月1日 ～2008年3月31日	2008年4月1日 ～2009年3月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>202,413</b>	<b>256,579</b>
税金等調整前当期純利益	301,069	244,485
減 価 償 却 費	141,269	119,457
法人税等の支払額	(-) 132,387	(-) 91,656
そ の 他	(-) 107,538	(-) 15,706
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(-) 248,626</b>	<b>(-) 200,790</b>
有形・無形固定資産取得による支出	(-) 256,049	(-) 191,088
そ の 他	7,422	(-) 9,701
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(-) 53,534</b>	<b>(-) 80,084</b>
借入金増減額	(-) 10,839	(-) 6,777
自己株式の取得による支出	(-) 7,895	(-) 29,938
配当金の支払額	(-) 36,580	(-) 42,884
そ の 他	1,781	(-) 484
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額他</b>	<b>(-) 3,165</b>	<b>(-) 26,278</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>(-) 102,913</b>	<b>(-) 50,574</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>404,532</b>	<b>301,619</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>301,619</b>	<b>251,044</b>

## 当期連結株主資本等変動計算書 (2008年4月1日～2009年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	株主資本					評価・換算 差額等	新株予約権	少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計				
2008年3月31日 残高	119,419	128,177	1,163,680	(-) 12,217	1,399,059	39,737	1,614	43,257	1,483,669
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			1,689		1,689				1,689
当期中の変動額									
剰余金の配当			(-) 42,884		(-) 42,884				(-) 42,884
当期純利益			154,731		154,731				154,731
自己株式の取得				(-) 29,938	(-) 29,938				(-) 29,938
自己株式の処分			(-) 160	542	381				381
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						(-) 156,716	831	(-) 4,410	(-) 160,295
当期中の変動額合計	—	—	111,686	(-) 29,396	82,290	(-) 156,716	831	(-) 4,410	(-) 78,004
2009年3月31日 残高	119,419	128,177	1,277,056	(-) 41,613	1,483,039	(-) 116,978	2,446	38,846	1,407,353

# 単独決算の概要

## 貸借対照表

(単位:百万円)

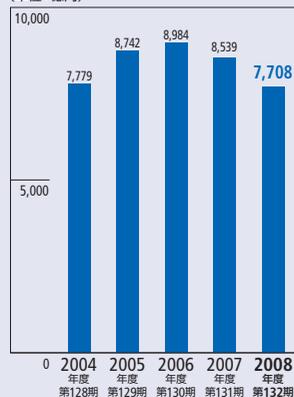
科 目	前期 2008年3月31日現在	当期 2009年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>	<b>(853,936)</b>	<b>(770,762)</b>
流動資産	517,875	421,951
現金・預金	61,225	67,569
受取手形・売掛金	187,442	140,350
有価証券	125,102	82,874
たな卸資産	65,105	74,717
その他の	78,998	56,439
固定資産	336,061	348,811
有形固定資産	119,106	123,144
建物及び構築物	36,939	37,612
機械装置及び運搬具	48,866	51,640
その他の	33,300	33,892
無形固定資産	630	1,010
投資その他の資産	216,324	224,656
投資有価証券	62,391	69,259
関係会社株式	129,485	129,633
その他の	24,446	25,763
<b>資産合計</b>	<b>853,936</b>	<b>770,762</b>

(単位:百万円)

科 目	前期 2008年3月31日現在	当期 2009年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>	<b>(184,830)</b>	<b>(118,997)</b>
流動負債	176,045	109,864
買掛金	111,340	74,207
短期借入金	7,286	5,193
その他の	57,418	30,463
固定負債	8,785	9,133
長期借入金	6,227	6,224
その他の	2,557	2,908
<b>(純資産の部)</b>	<b>(669,105)</b>	<b>(651,765)</b>
株主資本	657,985	649,529
資本金	119,419	119,419
資本剰余金	120,771	120,771
利益剰余金	430,011	450,951
自己株式	(-) 12,217	(-) 41,613
評価・換算差額等	9,727	63
新株予約権	1,393	2,172
<b>負債純資産合計</b>	<b>853,936</b>	<b>770,762</b>

## 総資産

(単位:億円)



## 純資産/自己資本比率

(単位:億円)

(単位:%)



※ 2005年度までの各事業年度の「純資産」の額は、「資本の部」の額を表示しています。

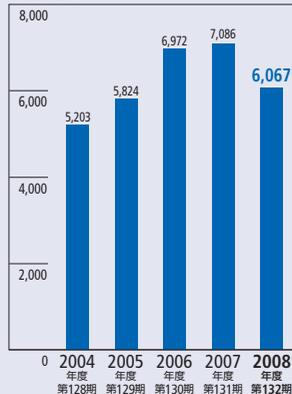
## 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期 2007年4月1日 ~2008年3月31日	当 期 2008年4月1日 ~2009年3月31日
売 上 高	708,580	606,722
売 上 原 価	577,577	496,270
<b>売上総利益</b>	<b>131,002</b>	<b>110,452</b>
販売費・一般管理費	49,071	32,011
<b>営業利益</b>	<b>81,931</b>	<b>78,440</b>
営業外収益	16,700	19,329
営業外費用	6,102	3,818
<b>経常利益</b>	<b>92,528</b>	<b>93,952</b>
特別利益	3,910	—
特別損失	5,761	1,197
<b>税引前当期純利益</b>	<b>90,677</b>	<b>92,754</b>
法人税・住民税・事業税	33,470	19,160
過年度法人税等	10,878	—
法人税等調整額	(-) 3,900	9,610
<b>当期純利益</b>	<b>50,229</b>	<b>63,984</b>

## 売上高

(単位:億円)



## 当期純利益 / 1株当たり当期純利益

(単位:億円)

(単位:円)



# 会社データ (2009年6月26日現在)

商号	信越化学工業株式会社			
本社	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号 電話 03 (3246)5091 URL :http://www.shinetsu.co.jp			
設立	1926年9月16日			
役員	代表取締役社長	金川 千尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ※1 河野 俊二※1 金子 昌資※1 宮崎 毅※1 福井 俊彦※1 石原 俊信 宮島 正紀 中村 敦 荒井 文男 笠原 俊幸 小根 澤英徳 轟 正彦 中村 健 秋本 俊哉 松井 幸博 岡本 博明
	代表取締役副社長	森 俊三 秋谷 文男		
	代表取締役専務	斉藤 恭彦 小野 義昭		
	常務取締役	幅田 紀一 高杉 晃司		
	※1 取締役フランク・ピーター・ポポフ、河野俊二、金子昌資、宮崎毅および福井俊彦は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。		常勤監査役	岡田 理
	※2 監査役福井琢、小坂義人および永野紀吉は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。		監査役	渡瀬 昌彦 福井 琢※2 小坂 義人※2 永野 紀吉※2
支店	大阪支店、名古屋支店、福岡支店			
工場	直江津工場(新潟県)、武生工場(福井県)、群馬事業所/磯部工場・松井田工場(群馬県)、鹿島工場(茨城県)			
研究所	合成技術研究所、新機能材料技術研究所(以上新潟県)、磁性材料研究所(福井県)、シリコン電子材料技術研究所、精密機能材料研究所(以上群馬県)、塩ビ・高分子材料研究所(茨城県)			
従業員数	連結 19,170名(単独 2,609名)(2009年3月31日現在)			
主要関係会社	シンテックINC.、信越半導体(株)、シンエツハンドウタイアメリカINC.、信越ポリマー(株)、S.E.H.マレーシアSDN.BHD.、シンエツPVC B.V.、信越エンジニアリング(株)、SEタイローズGmbH & Co.KG、シンエツハンドウタイヨーロッパLTD.、長野電子工業(株)、台湾信越半導体股份有限公司、直江津電子工業(株)、信越アステック(株)、三益半導体工業(株)、信越石英(株)、鹿島塩ビモノマー(株)			

# 株式の状況 (2009年3月31日現在)

発行する株式の総数	1,720,000,000株
発行済株式総数 (注)自己株式7,636,973株が含まれております。	432,106,693株
資本金	119,419,688,785円
株主の総数	65,376名

## 大株主(上位10名)

(千株未満は切捨表示)

株主名	持株数	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	41,662 <sup>千株</sup>	9.8 <sup>%</sup>
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	35,984	8.5
日本生命保険相互会社	24,370	5.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	20,718	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	12,077	2.8
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
明治安田生命保険相互会社	11,529	2.7
日本興亜損害保険株式会社	8,077	1.9
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	7,424	1.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,095	1.7

(注)当社は、自己株式7,636,973株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株価の推移



## 出来高の推移



# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当受領 株主確定日	3月31日
中間配当受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告掲載方法	電子公告により、当社ホームページ ( <a href="http://www.shinetsu.co.jp/j/index.shtml">http://www.shinetsu.co.jp/j/index.shtml</a> ) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

## (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金振込指定などの各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株券電子化に伴い、株主さまのお名前などに証券保管振替機構(ほふり)で指定されていない漢字等が含まれている場合、お送りする通知物の宛名の全部または一部がカタカナ等ほふりの指定する文字に置き換わっている場合がありますのでご了承ください。
- 株式事務に関する一般的なお問合せは、上記株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)の電話0120-232-711(通話料無料)で承っております。

**ShinEtsu**  
信越化学工業株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号  
電話 03 (3246) 5091 URL : <http://www.shinetsu.co.jp>  
証券コード: 4063

当社では、最新のIR情報のほか、当社をご理解いただくためのさまざまな情報を、メディアを通して発信しています。



ホームページ: <http://www.shinetsu.co.jp>



この冊子は森林認証紙に  
アメリカ大豆協会認定の大豆油インキで印刷されています。